

5.2 毒物、劇物、その他

●：毒物，◎：劇物，○：一般有毒性物質，■：特定有害物質
△：腐食性物質（粘膜を刺激，組織をおかすもの）

無機化合物		
亜硝酸塩類 ◎△	ケイフッ化水素酸 ◎	硝酸銀 △
亜セレン酸塩類 ○	五塩化リン ○△	硝酸クロム ○
亜テルル酸塩類 ○	五酸化二ヒ素 ○	硝酸水銀 ○
亜ヒ酸塩類 ○	五酸化リン △	硝酸タリウム ○
アンチモン ◎	三塩化ホウ素 ○	硝酸ベリリウム ○
アンモニア水 △	三塩化リン ○△	水銀 ●
ウラン ○	酸化ウラン ○	水酸化カリウム ◎△
塩化アンチモン △	酸化塩素 ○	水酸化ストロンチウム △
塩化インジウム ○	酸化オスミウム △	水酸化ナトリウム ◎△
塩化クロミル ○△	酸化カルシウム △	水酸化バリウム △
塩化水銀 ○	酸化クロム △	水酸化ベリリウム ○
塩化スズ △	酸化水銀 ○	水酸化リチウム △
塩化スルフリル ○△	酸化セレン ○	水酸化カルシウム △
塩化チオニル △	酸化ベリリウム ○	水素化ナトリウム △
塩化チタン △	三酸化二ヒ素 ○	水素化ヒ素 ○
塩化バリウム △	三酸化ヒ素 ■	水素化ホウ素 ○
塩素酸バリウム △	三酸化ホウ素 ○	水素化リチウム △
塩化ベリリウム ○	三臭化ホウ素 ○	水素化リン ○
過塩素酸 △	シアン化金属類 ◎	セレン ●
過塩素酸マグネシウム △	シアン化カリウム ●△■	セレン化水素 ○
過酸化カルシウム △	シアン化水素 ●	セレン酸ナトリウム ○
過酸化水素 ◎	シアン化ナトリウム ●△■	炭酸ベリリウム ○
過酸化ストロンチウム △	シアン酸塩 ◎	チオシアン酸水銀 ○
過酸化ナトリウム ◎	シアノ金酸塩 ◎	テトラシアノカドミウム酸カリウム ○
カドミウム ○	ジシアノ銀酸塩 ◎	テトラシアノ白金酸カリウム ○
過マンガン酸カリウム △	ジシアン ○	テルル酸塩 ○
カリウム ◎△	臭化水銀 ○	
カルシウム △	臭化水素酸 ◎△	
クロム酸塩 ○■	重クロム酸塩 ■	
	硝酸 ◎△	
	硝酸ウラニル ○	

ナトリウム ◎△	フッ化ウラン ○	硫酸銀 △
ナトリウムアミド △	フッ化水素酸 ○△	硫酸ストロンチウム △
ニクロム酸塩 ○	ベリリウム化合物 ○■	硫酸タリウム ◎
ニッケルカルボニル ●■	無水クロム酸 ◎	硫酸銅 △
八酸化三ウラン ○	ヨウ化銀 △	硫酸ベリリウム ○
発煙硝酸 ◎△	ヨウ化水銀 ○	リン ○
発煙硫酸 ◎△	ヨウ化水素酸 △	リン酸 △
ヒ酸 ●	ヨウ素 ◎	リン化亜鉛 ◎
ヒ酸塩 ●	リチウム △	リン化アルミニウム ○
ヒ酸水素二塩 ●	硫化亜鉛 △	リン化カルシウム ◎
ヒ酸二水素塩 ●	硫酸 ◎△	
	硫酸インジウム ○	

有機化合物		
アクリル酸	エチル水銀 ■	過酸化ベンズイル △
エステル ○	エチルベンゼン ○	カフェイン ○
アクリロニトリル ◎■	エチルメルカプタン ○	ギ酸 △
アクロレイン ◎	エチレンイミン ■	ギ酸タリウム ○
アセトアルデヒド △	エチレングリコールモノメチルエーテル ○	キシリジン ○
アセトニトリル ○	エチレングリコールモノメチルエーテル ○	キニーネ ○
l-アドレナリン ○	エチレンクロロヒドリン ○	クレゾール ◎
アニリン ◎	エチレンジアミン ○	クロル酢酸 △
2-アミノエタノール ○	エビクロロヒドリン ◎	1-クロル-1-ニトロプロパン ○
アミノビフェニル ■	塩化アリル ○	クロルピクリン ◎
アリルアルコール ○△	塩化エチル ◎	クロロブレン ○
アルキルアニリン ◎	塩化エチレン ○	クロロホルム ◎△■
アルキルトルイジン ◎	塩化ビニル ○	ケテン ○
イソプロピルアミン ○	塩化ビフェニル ■	ホルヒチン ○
イソホロン ○	塩化ベンジル ○	酢酸 △
インシュリン ○	塩化メチル ◎	酢酸ウラニル ○
インドール ○	エンドリン ○	酢酸ウラニル亜鉛 ○
エチルアミン ○△	過酸化尿素 ◎	酢酸水銀 ○
		酢酸バリウム △
		酢酸ビニル △
		酢酸ヘキシル ○

酢酸2-メトキシ エチル ○	ジメチル ホルムアミド ○	トルエン ■
サリチル酸 △	ジメチル硫酸 ◎	ナフタレン ○
三塩化ホウ素 エチラート ○	臭化エチレン ◎	β-ナフチル アミン ■
三臭化ホウ素 エチラート ○	臭化メチル ◎■	α-ナフチル チオ尿素 ○
三フッ化ホウ素 エチラート ○	シュウ酸 △	β-ナフトール ◎△
ジアセトン アルコール ○	シュラーダン ○	l-ニコチン ●
ジエチルアミン ○	ストリキニン ○	p-ニトロ アニリン ○
ジエチレングリ コールモノエ チルエーテル ○	チオセミ カルバジド ●	ニトロクロル ベンゼン ■
四塩化炭素 ◎△■	チオダン ○	ニトロトルエン ○
シクロ ヘキサノール ○	テトラエチル鉛 ●■	ニトロ ビフェニル ■
シクロ ヘキサノン ○	テトラエチルピロ ホスフェート ●	p-ニトロフェニ ルチオノベン ゼンホスホン 酸エチル ○
シクロ ヘキシミド ○	テトラクロル エタン ◎■	ニトロプロパン ○
2,2-ジクロルエ チルエーテル ○	テトラクロル エチレン ■	ニトロベンゼン ◎△
ジクロル酢酸 ◎	テトラニトロ メタン ○	パラアルデヒド △
ジクロルブチン ◎	テトラメチル鉛 ●■	パラチオン ●
ジクロル ベンジジン ■	トリエチル アミン ○	パラトルイレン ジアミン ◎
o-ジクロル ベンゼン ○	トリクロル エタン ■	パラフェニレン ジアミン ◎
ジケテン ○	トリクロル エチレン ■	ピリジン ○△
四臭化エタン ○	トリクロル酢酸 ◎△	ピロリン酸 テトラエチル ○
ジニトロ クレゾール ●	トリクロル プロパン ○	フェニル酢酸 水銀 ○
ジブロムエタン ◎	トリニトロ トルエン △	フェニル ヒドラジン ○
ジブロムクロル プロパン ◎	トリニトロ ベンゼン △	フェニレン ジアミン △
ジメチル アセトアミド ○	トリブチル アミン △	フェノール ○△□
ジメチルアミン ◎	トリプロピル アミン △	フェンカプトン ○
ジメチル アニリン ○	トリメチル アミン △	o-フタロ ジニトリル ■
ジメチル ホスフェイト ●	トリレンジイソ シアネート ○■	ブチルアミン ○
	o-トルイジン ◎	p-t-ブチル トルエン ○

l-ブチル メルカプタン ○	マラソン ○	メチル メルカプタン ○
フルオル酢酸 アミド ●	マロン酸 タリウム ○	モノクロル酢酸 ◎
フルオル酢酸 ナトリウム ○	無水酢酸 ○	モノフルオル 酢酸 ●
ブルシン ○	無水フタル酸 △	モノフルオル 酢酸アミド ●
フルフラール ○	メシチル オキシド ○	モルホリン ○
プロビレン イミン ○	メタノール ◎■	ヨウ化水素 ◎
プロモホルム ○	メチルアニリン ○	ヨウ化メチル ■
n-ヘキサン ■	メチルアミン ○	硫化リン ●
ベンジジン ■	メチル水銀 ■	硫酸ジエチル △
ベンジル アルコール △	メチル スルホナール ◎	硫酸ジメチル ○△■
ベンゼン ○△■	メチルナフチル カルバメート ◎	硫酸ニコチン ○
p-ベンゾキノン ○	メチル バラチオン ○	ロダン酢酸 エチル ◎
ペンタクロル フェノール ◎△■	メチル ヒドラジン ○	ロデノン ◎

1. 有毒性物質は、蒸気や微粒子として呼吸器管から、水溶液として消化器管から、また接触によって皮膚や粘膜から吸収されるので、対応した処置が必要である。
2. 毒物●、劇物◎は密栓した容器に入れ、内容物を明記して施錠した薬品棚に保管し、その出納を記録する。万一、盗難にあった時は指導者に届出なければならない。
3. 一般有毒性物質○の中には、毒性の強いものもあるので注意のこと。
4. 腐食性物質△の使用後は、うがい、洗顔などを励行せよ。
5. 特定有害物質■は一般に蓄積毒性のものが多く、長期にわたって、使用する時には十分な注意が必要である。